

今年は国際協同組合年！ 協同の力で地域農業を発信!!

令和7年5月30日

JAセレサ川崎と川崎信用金庫が協力する稻作を麻生区黒川地区で始めます。本年度は国連が国際協同組合年と定め、JAは昨年度から生活協同組合などと連携を強化。さまざまな組織と収穫体験などを通じ、市内農業をPRしています。このたび、JAと川信の新採用職員らと役員合わせて約100人が協力して神奈川県推奨米「はるみ」を田植えします。ぜひ取材いただき、JAが他業種と連携する事業を紹介いただければ幸いです。

国際協同組合年とは

国連が、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を高く評価し、その認知の向上と協同組合の振興のため、2012年に続き25年を「国際協同組合年」(IYC=International Year of Cooperatives)と定めました。

JAセレサ川崎では、協同組合として地域で助け合いの輪を広げ、持続可能な開発目標の実現に貢献しています。昨年度は「ユーコープ」や「かわさき生活クラブ」と連携して収穫体験や食農教育などについて学ぶフォーラムを開催。協同組合間連携として消費者に農業への理解を深めてもらうイベントに注力しています。また、令和7年4月以降に発行されたJA役職員の名刺には「国際協同組合年」のロゴが追加されています。



国際協同組合年

当日の田植えについて

JAと川崎信用金庫の新採用職員らが協力して田植えを行います。JAからは梶穂組合長、大川護副組合長、田口澄也副組合長など役員と新採用職員37人、川信からは堤和也理事長など役員と新採用職員57人が参加の予定です。JA青壯年部柿生支部の市川悟支部長ら支部員の指導・補助の下、手作業で初夏の田んぼに苗を植え付けます。

田植え体験後は、青壯年部員による農機を使った田植えを見学する他、会場の近くにあるJAの大型農産物直売所セレサモス麻生店を視察。川崎を拠点とする両組織の役員や新入職員に稻作の現場を体験・見学いただくことで市内農業の理解を深めていただきます。

【取材ご案内】

日 時：令和7年6月9日(月) 10時開会式

集合場所：川崎市麻生区黒川206

黒川営農団地管理組合倉庫

※お越しの際は、公共交通機関をご利用いただくか、近隣
コインパーキングなどをご利用ください。



昨年度、JA新採用職員と
田植えする梶組合長



地図二次元コード

内 容：開会式後1時間ほど田植えの様子を撮影できます。両組織の代表や新採用職員に感想を聞く時間は特に設けていませんので、作業中(休憩中)にお願いします。

当日は、JAセレサ川崎 経営企画部広報課の職員も同行します。

【お問い合わせ・取材のご連絡について】

※取材をご希望される場合は、事前にJAセレサ川崎広報課までご連絡願います。

◆お問い合わせ先

セレサ川崎農業協同組合本店 経営企画部広報課 TEL 044-877-2964 担当：高松(当日連絡先090-9302-0991)